



災害時の勤務、車両運用の改善を！

会社に団体交渉申し入れ

9月に上陸した台風14号、台風15号に加え、豊橋駅における人身事故などによって列車に大幅な遅れが発生し、その結果、社員の健康と安全が損なわれる事態が発生しました。新幹線地本は、昨日会社に対して問題の解明と是正をもとめて、団体交渉開催の申し入れを行いました。

■乗務員

- ・十分な休養を確保せずいたずらに長時間待機させた。
- ・1時間程度の睡眠あるいは一睡もさせずに次の乗務を指示された。
- ・中間駅で「カロリーメイト」と「水」のみで乗務を継続させられた。
- ・運輸所に多くの乗務員が待機しているにも関わらず、到着したばかりの乗務員をそのままホーム折り返しで乗務させた。

■東京駅

- ・到着した列車の折返し運用が決まらず、ずっとホームに止まっていた。
- ・東京駅の休憩列車の設定で、最初は1本のみだったが、その後2本、3本と追加されていった。当初、利用客はB席を空けた状態で座っていて、「密状態」を余儀なくされていた。

■車両所

- ・仕業検査の各班での施工本数の差が最大4本という事象が発生した。
- ・仕業検査の休憩時間の指定では、夜食の為の15分休憩を20時台に先取りさせた。

台風14号の時、JR西日本は、早々に全面運休を決めたことで被害を最小限に抑えることに成功した。しかし、台風15号では、東海豪雨時並みの大きな遅延が発生した。JR東海の指令・非現業の判断が問われる！

「利益最優先」で、走らせることありきの状況判断をしていないか！？